

# 成田市議会だより No.83

平成28年 3月定例会

2016.5.1発行

## 表紙写真募集

成田市議会だより(8月1日号)に掲載する写真を募集します。

「あなたが思う  
成田らしい写真」

締切は7月11日(月)  
詳細は市議会ホームページを  
ご覧ください



### さくらの山

成田空港近くにあるさくらの山。春には植栽されているサクラが見頃を迎え、多くの花見客で賑わいをみせています。  
(成田市さくらの山)

### 主な内容

常任委員会	3	予算特別委員会	9
議案と審議結果一覧	5	議会報告会を開催	10
平成27年度の行政視察	7	一般質問	12
特別委員会	8	コーヒータイム	18

3月

定例会の  
あらまし

# 予算議案を含む44議案を可決

## 基本計画の策定や国民健康保険税条例の一部改正など

平成28年3月定例会は、2月19日に招集され3月17日まで28日間の会期で開かれました。定例会の初日には、40議案が上程されました。

2月24日には、予算特別委員会が新たに設置されました。

一般質問は、各会派の代表質問と個人質問が2月24日から4日間、19人の議員が登壇して行われ、3月1日からは各常任委員会、特別委員会が開かれました。

最終日には、議案40件と追加議案3件および発議案1件を原案どおり可決し、また、請願2件を不採択とし、閉会しました。

### 3月定例会の日程

月 日	内 容
2月 19日(金)	本会議（開会、会期の決定、全議案一括上程）
24日(水)	本会議（代表質問）、予算特別委員会
25日(木)	本会議（一般質問）
26日(金)	本会議（一般質問）
29日(月)	本会議（一般質問、議案質疑、委員会付託）
3月 1日(火)	医学部設置に関する特別委員会、建設水道常任委員会
2日(水)	空港対策特別委員会、教育民生常任委員会
3日(木)	経済環境常任委員会
4日(金)	議会運営委員会、総務常任委員会
7日(月)	予算特別委員会
8日(火)	予算特別委員会
9日(水)	予算特別委員会
17日(木)	本会議（会議録署名議員指名、議案・請願審議、閉会）



# 常任委員会

本会議で委員会に付託された主な議案と  
審査内容の概要を紹介します。

※議案件名など一部省略しています。

## 総務 常任委員会

議案14件をいずれも可決し、  
請願1件を不採択としました。  
所管事務について7件の報告  
を受けました。

### ▼成田市基本計画の策定

**【内 容】** 成田市基本構想に示したまちづくりを推進するため、行政分野全般に係る政策および施策の方向を総合的かつ体系的に定める新たな基本計画を、平成28年度を初年度に、平成31年度を目標年度として策定するもの。

**【主な質疑】** **問** 重点指標として掲げた新規企業誘致件数と先端産業集積件数について、それぞれの目標値を決めた根拠は。

**答** 新規企業誘致件数については、過去の実績を基に平成31年度までに毎年2件ずつを見込んだ。また、先端産業集積については、医療機器団体との対話を重ねた中で、平成31年度までに1件、また平成32年中に国際医療福祉大学医学部付属病院が開設予定のため、その周辺地域に、平成39年度までにさらに2件の医療関連産業の集積を目標として設定した。

### ▼安全保障関連2法（国際平和支援法、平和安全法制整備法）の廃止を求める意見書採択についての請願

- 【主な意見】**
- 戦争行為を肯定し、自衛隊が戦争行為に参加する恐れのある本法律は、わが国の真の世界平和貢献への道を阻害するものとする。
  - 密接な関係にある国が攻撃され、日本国民の生命、自由、幸福追求の権利が根底から覆される明白な危険がある場合、必要最小限度の実力行使が許容されるという政府の判断を支持する。

### ▼成田市国民健康保険税条例の一部改正

**【内 容】** 国民健康保険事業において、保険給付費等が年々増加し、財源不足が生じていることから、税率の改正を行うとともに、納税義務者間の負担均衡を図るため、法定限度額の範囲内で課税限度額を改正するもの。

**【主な質疑】** **問** 医療費抑制のためにどのような努力をしているのか。

**答** レセプト内容の点検を実施するとともに、平成25年度からジェネリック医薬品<sup>注1</sup>の普及促進を図っている。また、メタボリックシンドローム<sup>注2</sup>該当者への保健指導や、平成26年度から新たに、糖尿病と思われる人を対象に保健指導を行い、重症化による人工透析への進行を防止することで医療費の抑制に努めている。

注1 後発医薬品。

注2 内臓脂肪型肥満により、さまざまな病気が引き起こされやすくなった状態。

### ▼成田市自転車等の放置防止に関する条例の一部改正

**【内 容】** 成田市が設置した駐輪場において、市民等の利便性の向上および駐輪場の有効活用を図るため、125cc以下の普通自動二輪車等についても駐車できるようにするとともに、指定駐輪場の利用手続きについて、現行の利用登録から利用許可に変更することに伴い、所要の改正を行うもの。

**【主な質疑】** **問** 有料駐輪場2カ所を指定した経緯は。

**答** 成田駅周辺のバイクを対象とした有料駐輪場は3カ所あるが、そのうち1カ所は満車の状況であることから、余裕のあるJR成田駅西口駐輪場と栗山駐輪場で受け入れることとした。

## 教育民生 常任委員会

議案8件をいずれも可決し  
ました。  
所管事務について9件の報告  
を受けました。



▲125cc以下の普通自動二輪車の指定駐輪場となる栗山駐輪場

## 経済環境 常任委員会

議案4件をいずれも可決し、  
請願1件を不採択しました。  
所管事務について7件の報  
告を受けました。

### ▼成田市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例制定

【内 容】 消費者安全法が改正され、消費生活センターを設置する市町村は、消費生活センターの組織および運営等について条例で定めるとされたことから新たに条例を制定するもの。

### ▼成田市農業委員会の選挙による委員の定数及び選挙区等に関する条例廃止

【内 容】 農業協同組合法等の一部を改正する等の法律の施行に伴い、農業委員会等に関する法律の一部が改正され、農業委員会委員の選出方法が、公選制と選任制の併用から、議会の同意を要件とする市町村長の任命制に一本化されることになったことから、条例を廃止するもの。

【主な質疑】 **問** 法律改正により、農業委員会委員の定数等がどう変わるのか。

**答** 農業委員会等に関する法律施行令では、成田市の基準農業者数、農地面積の区分から、定数の上限が19名となり、任命に当たっては、原則として過半数は認定農業者とすること、農業者以外のもので中立公正な判断のできる者を1人以上入れること、年齢、性別に著しい偏りがないよう配慮することなどが定められている。

### ▼成田市手数料条例の一部改正

【内 容】 長期優良住宅の普及の促進に関する法律施行規則等が改正され、平成28年4月1日から、現行の新築住宅だけでなく、増築や改築を行う場合でも、既存建築物を含めて長期優良住宅に係る認定事務を行うこととなるため、新たに認定事務に係る手数料を定めるなど、所要の改正を行うもの。

【主な質疑】 **問** 手数料について、新築と増改築で金額に差がある理由は。

**答** 新築の場合、設計図面だけで全て確認できるが、増築になると、新たにつくるものの他に、既存の建物についても審査するため、新築に比べて金額が高くなっている。

## 建設水道 常任委員会

議案5件をいずれも可決し  
ました。  
所管事務について3件の報  
告を受けました。

### ●委員会で審査された陳情

▶ 高校生の議会傍聴に関する陳情書

不採択

＜議会運営委員会＞

## 国に意見書を提出

3月定例会では、議員から提出された議案（発議案）を可決し、国および関係行政機関に意見書を提出しました。  
提出した意見書は下記のとおりです。

### ■成田国際空港の更なる機能強化に関する意見書

#### 【意見書要旨】

「成田空港に関する四者協議会」において成田空港の更なる機能強化が議論されているが、その早期実現に向け、下記の項目について国に要望するもの。

- 1、騒音地域住民と行政や成田国際空港株式会社が信頼関係を築き、早期に対策を明示し、双方で意見を交わしながら、その必要性や騒音の影響、機能強化に伴う環境対策、地域共生策について合意形成を図ること
- 2、環境対策、地域共生策の検討に当たっては、抜本的な移転対策や防音工事の充実を求める騒音地域住民の声に耳を傾け、真摯にその理解と課題解決に努めること
- 3、羽田空港の国際線発着枠の取扱いについては、成田国際空港の国際線ネットワークが損なわれないよう、将来にわたり十分に配慮すること



意見書提出





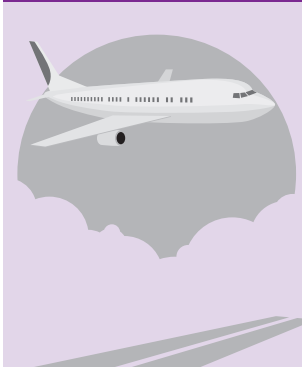




# 特別委員会

委員会で報告された内容の一部を要約して紹介します。

## 空港対策 特別委員会



### ●成田空港の更なる機能強化に向けた動き

空港機能強化に関する説明会を、平成27年12月14日に成田空港騒音対策地域連絡協議会常任理事幹事会において、また、同協議会各支部からの要望を受け、1月から下総・久住・遠山・豊住地区において、それぞれ開催したとのことでした。

地区説明会では、これまでの約束事項、要望事項への対応、納得のいく騒音コンタクト<sup>注3</sup>の提示、機能強化に伴う新たな騒音対策、航空機からの落下物対策、隣接区域の拡大などについての意見や要望が多く出されたとのことでした。

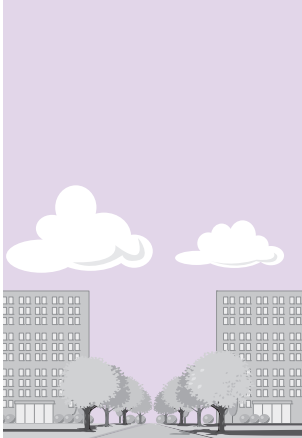
羽田空港の昼間の発着枠の活用を協議する日米航空交渉を控えた2月8日には、千葉県と成田空港圏自治体連絡協議会の連名で、日米路線の協議においては、成田空港の国際線ネットワークが毀損されることのないよう配慮を求める旨の申入書を、国土交通大臣に対して提出したとのことでした。

2月16日から日米航空協議が開催され、10月末から羽田空港の昼間時間帯に日本、アメリカ双方1日5便ずつ、深夜早朝時間帯に双方1日1便ずつの合計12便の運航を可能とすることで、2月18日に合意したとのことでした。

この合意後、国土交通大臣から、成田空港について、アジアから北米への乗り継ぎ需要をしっかりと取り込んでいくことでアジア内の厳しい空港間競争の中、今後ともアジアと北米間の乗り継ぎのハブ空港としての機能を拡充していくよう鋭意取り組んでいくとの発言があったとのことでした。

注3 騒音影響区域。

## 医学部設置 に関する 特別委員会



### ●医学部新設の進捗状況

平成28年1月12日に医学部校舎の起工式が行われ、今後は文部科学大臣の設置認可を目指すとのことでした。認可となった場合には、平成29年2月に医学部校舎1・2年生棟が竣工し、4月に開学が予定されているとのことであり、付属病院については、平成32年中の開設を目標に準備を進めているとのことでした。

また、2月14日には成田市文化芸術センター内のスカイタウンホールにおいて、地域医療の充実と医学部新設について理解を深めてもらうため医療シンポジウムを開催したとのことでした。当日は、約150人の参加があり、成田市のこれからの地域医療のあり方をテーマにパネルディスカッションも行われ、貴重な意見が多数出されたとのことでした。

### ●医学部設置計画の変更

医学部校舎の設置費について、国際医療福祉大学において実施設計を行ったところ、建設工事費が130億円から128億円となり、設備購入費は、概算で32億円に見直しを行ったとのことで、成田市としては、大学からの補助金申請時に精査を行うとのことでした。また、3年から6年生棟および駐車場の2期工事は、工期の短縮により竣工時期が平成29年12月に早まるとのことでした。さらに、医学部付属病院の建設主体について、協議の結果、法人格が一般社団法人になったとのことでした。また、基金12億円で事業が成り立つよう見直しが図られたとのことで、成田市はそのうち、2億円を拠出するよう要望されているとのことでした。

**【主な質疑】** 問 今後発生する設備費について、追加で補助することがあるのか。

答 今回の設備に対する助成は初期投資として補助するものであり、今後発生する設備費は、大学側で賄うべきであると判断している。

### ●国際医療福祉大学医学部の設置に関する基本協定書（案）

平成26年4月1日付で締結した（仮称）成田キャンパスの開設に関する基本協定書をベースとして、医学部設置に当たり、開設年度、補助額や交付期間、および付属病院などを規定した原案を作成し、現在、大学側と調整を行っており、4月1日付で締結したいと考えているとのことでした。





# 第1回議会報告会を開催しました

成田市議会では、平成28年2月6日(土)に1回目となる議会報告会を市内2会場で開催し、延べ154人のご参加をいただきました。

この議会報告会は、平成26年12月に制定した議会基本条例に基づくもので、議会の活性化と開かれた議会の実現を目指し、議員が議会の活動状況等を直接市民の皆さんに報告するものです。

今回の議会報告会では、4つの常任委員会と2つの特別委員会の各委員長が定例会における審査概要について報告し、報告内容についての質問に答えました。続いて意見交換を行い、多くの方からさまざまなご意見・ご要望をいただきました。

また、参加者の皆さんにアンケート調査をお願いし、たくさんの方にご協力をいただきました。今後は、いただいたご意見やアンケート調査の結果を参考に、さらなる開かれた議会を目指してまいります。

## 【議会報告会の概要】

開催日 平成28年2月6日(土)

会場 中央公民館(午後1時30分～午後3時30分)、大栄公民館(午後5時～午後7時)

### ①常任委員会の報告

- ・ 総務 (成田市基本構想の策定)
- ・ 教育民生 (中台保育園大規模改修工事請負契約の締結、児童ホームの設置及び管理に関する条例の一部改正など)
- ・ 経済環境 (成田富里いずみ清掃工場1号炉停止および修繕、成田市場の輸出拠点化および再整備)
- ・ 建設水道 (都市公園条例の一部改正、京成成田駅東口バリアフリー化工事請負契約の変更など)

### ②特別委員会の報告

- ・ 空港対策 (カーフェューの弾力的運用の実施状況、成田空港のさらなる機能強化に向けた動きなど)
- ・ 医学部設置に関する(委員会設立の経緯、医学部校舎設置に係る議案の審査報告など)

### ③意見交換

## 【議会報告会への参加状況】

来場者154人のうち、92人からアンケートにご回答いただきました。

	中央公民館	大栄公民館	計		20代	30代	40代	50代	60代	70代超	計
来場者(人)	107	47	154	中央公民館	0	2	1	6	27	34	70
アンケート回答(人)	70	22	92	大栄公民館	0	0	2	6	13	1	22



**【各会場からの質問や意見等】**（※一部の要旨を掲載しています）

● **中央公民館 講堂（午後1時30分～午後3時30分）**

- ・ごみ問題について、リサイクル、リデュース<sup>注6</sup>が進んでいないので、市議会全体で取り組んでほしい。
- ・新清掃工場の余熱を利用した施設について計画を進めているのか。
- ・新清掃工場の焼却炉について、事故が再発しないよう進めてほしい。
- ・空港のアクセス問題について、都心から遠くて高いため、もう少し時間を縮めて、安くなる方法があるのか研究してほしい。
- ・医学部の設置について、土地購入の問題は京成電鉄と市当局だけの内容になっていたが、第三者機関にも判断してもらったのか。
- ・国際医療福祉大学の看護学部と保健医療学部の学科の中に、手話を取り入れたカリキュラムを組んでもらうよう申し入れてほしい。

<sup>注6</sup> 数量などを減らすこと。



▲中央公民館での議会報告会

● **大栄公民館 研修室（午後5時～午後7時）**



▲大栄公民館での議会報告会

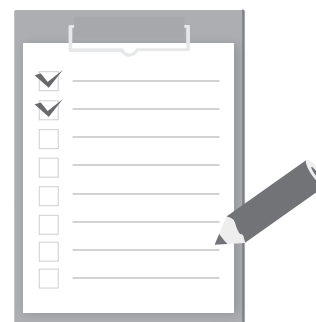
- ・カーフュー<sup>注7</sup>の弾力的運用が実施されているが、その理由を教えてください。
- ・久住地区、下総地区で落下物の危険等による希望移転の要望が出ているため、その研究を進めてほしい。
- ・今後第3滑走路ができた際には、大栄地区にかかわる地域振興を検討してほしい。
- ・多額の支出をして国際的な医学部の誘致をするからには、地域医療を最優先でお願いしたい。
- ・花の回廊事業について実施状況が見えないが、これからの進め方は。
- ・大栄地区にある5つの小学校が統合されるが、跡地利用の考えは。

<sup>注7</sup> 空港周辺騒音防止対策の為に航空機の離着陸を禁止している時間帯。

**【アンケートのご意見】**（※一部の要旨を掲載しています）

- ・委員会審査のプロセスについても説明してほしい。
- ・専門用語、行政用語については、資料に別途解説を追記してほしい。
- ・意見交換の時間が少なかった。
- ・議会報告会は、大変良い企画であり、続けてほしい。
- ・他の地域でも開催してほしい。

※議会報告会で出された質疑応答や意見およびアンケート結果等の詳細については、市議会ホームページをご覧ください。





# 一般質問 代表質問

代表質問は、新年度に向けた「施政方針」などに対し、所属議員数3人以上の会派の代表が行う質問です。

## 1. 平成28年度の市政運営の基本的な考え方

【政友クラブ】 秋山 忍 議員



**問** 政府の財政金融政策により企業収益が回復しつつあり、日本経済は上向き傾向にある。しかし、安定した景気回復とはほど遠く、金融資本市場の変動に留意するとともに今後はTPP<sup>注8</sup>の動向についても注意深く見守る必要がある。このような情勢の中、行政として求められているのは、近い将来に訪れる超高齢化社会などの社会情勢の変化に対応し得る施策、地方分権、地方創生を見据えての施策の実現である。そこで、平成28年度の市政運営における市長の基本的な考え方を伺う。

**答** 超高齢化社会を迎える中、

成田市が持続的に発展していくため、空港と周辺地域の継続的な発展と騒音対策、国際医療学園都市構想の実現などの諸課題に積極的に取り組み、スピード感を持って進展させることが責務である。平成28年度は、一般会計で619億円という積極的な予算を編成したが、「国家戦略特区の推進による新たな都市構想の実現」、「安心して子どもを産み、子育てができる環境づくり」、「空港周辺地域の生活環境の整備充実」の3つは重要であると考えている。

その他の質問

●医学部新設

注8 オーストラリア、ブルネイ、カナダ、チリ、日本、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、シンガポール、米国およびベトナムの12か国で交渉が進められてきた経済連携協定。

## 2. 成田空港のさらなる機能強化への市の考え

【豪政会】 上田信博 議員



**問** 成田国際空港株式会社から発表された2015年の成田空港の運用状況によると、航空機の発着回数、航空旅客ともに過去最高値を更新し着実に発展を遂げているが、羽田空港の国際線ターミナルが開業してから5年が経過し、国際線も倍増、地方空港から羽田を経由して海外へ旅立つ人も増えたと聞いている。国内だけにとどまらず国際的な空港間競争に勝ち抜くためには、成田空港のさらなる機能強化が必要と考えるが、成田市の考えを伺う。

**答** 成田空港の機能強化は、国際競争力の強化や空港利用者の利

便性の向上につながるだけでなく、空港周辺地域への新たな企業の進出、地域の活性化や雇用の場の拡大など、地域経済の発展にも大きな効果をもたらす最大の地方創生と考えている。そして、騒音地域住民と行政や成田国際空港株式会社が信頼関係を築き、双方向で意見を交わしながら、環境対策、地域共生策について合意形成を図ることが重要であり、騒音地域住民の意見が適切に反映されるよう成田空港に関する四者協議会等の場で協議していきたいと考えている。

その他の質問

●平成28年度予算編成

## 3. 平成28年度施政方針

【成田自民の会】 佐久間一彦 議員



▲成田市役所

**問** 市長は、施政方針において、「新年度の予算編成については、平成28年度を初年度とする、NARITAみらいプランの方向性に沿った事業を中心に、選択と集中による限られた財源を効率的かつ効果的に配分する」と述べていた。そこで、特にどの施策分野に選択と集中をしたのかなど、予算編成に当たっての基本的な姿勢・考え方について伺う。

**答** 平成28年度予算編成では、成田市総合計画「NARITAみらいプラン」に掲げる将来都市像である「住んでよし働いてよし訪れてよしの生涯を完結できる空の港まちな

りた」を目指し、未来を見据えた施策を実践することで成田市の魅力を高め、市民に引き続き住み続けたいと思ってもらえるまちづくりを着実に進めるため、一般会計で619億円という積極的な予算を編成した。具体的には、総合計画の中でまちづくりの基本姿勢として掲げる「若者や子育て世代に魅力のあるまちづくり」、「医療・福祉の充実したまちづくり」、「空港と共に発展するまちづくり」の3つの基本姿勢を基に、予算編成方針において7つの重点施策を掲げ、これらの方向性に沿った事業を中心に、選択と集中により限られた財源を効率的かつ効果的に配分した。



## 4. 健康で笑顔あふれ、共に 支え合う社会をつくる

【公明党】 水上幸彦 議員



▲児童ホームでの子どもたち

**問** 少子高齢化の中で、人口減少を食い止める施策として、子育てしやすい環境づくりのために今回進める「成田市子ども・子育て支援事業計画」により、保育園、児童ホームの待機児童の解消は図られるのか、その見通しについて伺う。

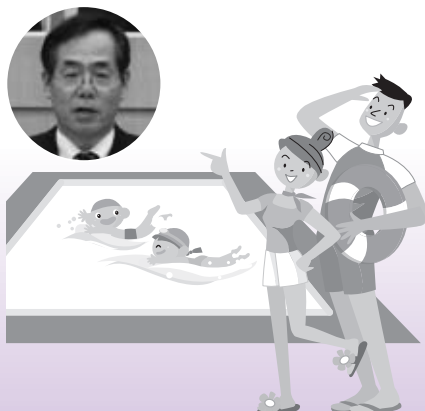
**答** 「成田市子ども・子育て支援事業計画」は、平成27年度から31年度までの5カ年の計画で待機児童の解消や地域における子育て支援の充実に取り組んでいる。平成28年度は、小規模保育事業所3園の開所で定員が55人拡充するほか、認可保育園の開園で60人の定員増となる。

また、「認定こども園<sup>注9</sup>」2園の建設工事に着手する予定で、開園する平成29年度には定員が230人増となる。公立保育園も定員拡充と保育環境の向上を図るための大規模改修工事を、橋賀台、新山、中台に続き吾妻保育園で着手する。これら各種事業を並行して推進し、早期に待機児童の解消を図っていく。また、児童ホームについて、久住児童ホームの増設工事を実施するとともに、現在、本城小学校の体育館2階会議室で運営している本城児童ホームを、新たに独立した2部屋型の児童ホームとするための実施設計を行うなど、待機児童の解消に努めていく。

注9 就学前の子どもに教育と保育を一体的に提供するとともに、地域の子育て家庭に対する支援を行う施設。

## 5. 新清掃工場関連付帯 施設の整備の現状

【リベラル成田】 油田 清 議員



**問** 新清掃工場の付帯施設は、平成24年の新清掃工場完成の1年後とされ、本来であればすでに稼働して市民に利用されているはずであった。成田市の担当部の努力で用地の買収は進んでいるが、その建設に着手するまでには至っていない。この付帯施設は市民意識調査で、住んでいる地域に希望するスポーツ施設の項目の中、世代を超えて最も求められている施設である。予算書では平成26年から平成31年の継続事業であるが、その進捗状況について伺う。

**答** これまでに基本構想、基本設計を経て実施設計まで終了して

いる。事業用地は平成25年度から26年度に約75%が取得済みとなったが、残りはいまだ契約に至っていない。工事については、平成26年度までに接続する市道野毛平小泉線の用地の取得済み部分において、新清掃工場から付帯施設へ余熱を送る温水管工事と付帯施設から荒海川へ雨水などを排水するためのボックスカルバート<sup>注10</sup>工事を施工している。

### その他の質問

- 医学部・付属病院新設と地域医療
- スケートボードパークの整備

注10 水路・道路・通信線の収容などのために地中に埋設される箱型の構造物。

## 6. 成田市内の商工業 の振興施策

【新風成田】 鳥海直樹 議員



**問** 成田市の商工業振興施策のゴールは、事業者の育成の観点から、成田市内におけるバランスのとれた、需要と供給が完結できるようなまちづくりの仕掛けを行政が行うことであると考えている。そこで、市内業者への優先発注について成田市の考えを伺う。

**答** 工事の発注については、制限付一般競争入札の実施における参加資格要件として、事業所の所在地要件を明確に設定することで、市内業者への優先的な発注を実施し、市内経済の活性化に努めてきた。業務委託についても、制限付一般競争

入札を原則とした入札を実施しており、今後も地元業者の育成という観点から、競争性を確保しながら、できる限り市内業者への発注を最優先に考えた入札執行に努めていきたい。

### その他の質問

- 今後の学校給食費無料化導入の見解
- 待機児童解消に向けた認可保育園と認定こども園の事業の進捗
- 特定空き家とそうでない空き家の具体策



# 一般質問 個人質問

議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。質問と答弁の内容を要約して掲載しています。

## 7. 教職員の多忙化改善を

鬼澤雅弘 議員



**問** 教職員自身が慢性的な疲労などから、うつ病などの精神疾患になるケースが増え続け、その割合は一般企業と比べて約2.5倍になっている。文部科学省の発表によると、精神疾患で休職した教職員の数は、平成25年度には全国で5,078人、千葉県でも190人になっており、依然高水準である。そこで、成田市での教職員の時間外勤務の実態とその原因を伺う。また自宅へ持ち帰って仕事をしている時間についても伺う。

**答** 平成27年11月の1カ月間、市内全ての小中学校を対象に勤務時間に関する調査を行った結果、授業

がある日の1日当たりの時間外勤務は、小学校が平均3時間12分、中学校が平均2時間53分であった。要因は、教材研究や授業準備、成績処理、生徒指導、部活動指導、報告書の作成、保護者対応、会議・打ち合わせ等多岐にわたっている。また、自宅への持ち帰り仕事の1日当たりの平均時間については、事実を客観的に表せるデータは無い。

### その他の質問

- ◆給食費の16%という値上げ幅は、大き過ぎではないか
- ◆空港対策における市の立ち位置
- ◆卸売市場の現状と今後のあり方

## 8. 放課後の校庭開放

一山貴志 議員



**問** 最近、公園でのボール遊びが禁止されており、子どもたちが公園内でボール遊びをすると、近隣から学校や地域に苦情が寄せられる現状がある。一方で「校庭を遊び場として開放してほしい」との保護者の声も非常に多い。大阪府の寝屋川市では、放課後校庭開放事業を行っており、非常に良い取り組みと思う。そこで、成田市でも校庭開放サポーター<sup>注11</sup>を配置したり、校庭開放事業を展開したらどうかと考えるが、例えば地域のボランティアグループなどと協力し見守りが可能となった場合、放課後の校庭を遊び場として開放することは可能か伺う。

注11 市からの募集に応じ、放課後の市立小学校の校庭で児童が安全に遊べるよう見守る人。

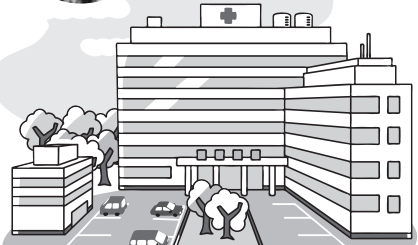
**答** 現在、放課後子ども教室を実施しているが、児童ホームを設置している学校と同様に、大人の目が行き届き、事故への対応や帰宅時間への配慮ができるということであれば、校庭を利用することも可能と考えている。

### その他の質問

- ◆振り込め詐欺対策
- ◆オリンピック・パラリンピック 東京大会開催に向けて

## 9. 医学部・付属病院の設置は地域医療に寄与するのか

雨宮真吾 議員



**問** 成田赤十字病院は中核病院として1次から3次救急までを担うが、医師不足から1次救急が困難になり、紹介外来制度や成田市の補助で維持している状況で、経営状況が順調とは思えない。平成27年9月に開院した成田富里徳洲会病院は2次救急であり、国際医療福祉大学による付属病院の設置は成田赤十字病院の経営悪化を加速させないか懸念する。成田市は医学部、付属病院新設に伴う消費関連の経済波及効果として、最大で年211億円と試算するが、成田赤十字病院が機能不全になり大きな経済的損失が生じ、地域医療の崩壊を招くことはないのか。

**答** 平成27年10月に行われた国際医療福祉大学と成田赤十字病院との意見交換の中では、新設される医学部の付属病院と成田赤十字病院はそれぞれの役割を明確に果たし、人材交流および医療技術における連携を積極的に行っていくとされた。また、病病連携、病診連携が重要であること、情報共有のための意見交換の場を継続的に設けることなども確認された。今後も地域医療の充実に向けて連携協力を図っていく。

### その他の質問

- ◆財政への影響と他へのしわ寄せ
- ◆市独自の奨学金制度の創設



## 10. 子育て世代包括支援センター

大倉富重雄 議員



▲沐浴中の赤ちゃん



**問** 子育て世代包括支援センター、いわゆる「ネウボラ日本版」への期待が高まっている。同センターは、妊娠から出産、子育てまで、お母さんが直面するさまざまな相談に乗り、切れ目のない支援を実施するワンストップの拠点である。1カ所で何でも相談できる画期的な取り組みであるため、千葉県内でも習志野市、我孫子市、浦安市、君津市が設置している。そこで、全国400以上の先進市で行われている仕組みやメリットなどを習得し、子育て世代包括支援センター事業の導入を提案するが、成田市の見解を伺う。

**答** 国は、子育て世代包括支援センターを全国で展開する方向性を打ち出している。成田市では、以前から母子保健事業を通じて、妊娠・出産から子育てまで切れ目なく支援する体制を築き、その充実・強化に努めているが、今後は、市の現状を踏まえた体制づくりを進め、関係機関と協議、連携して、子育て世代包括支援センターの早期設置に向けて取り組んでいく。

### その他の質問

- ◆ 商工業振興計画で中小企業支援
- ◆ 女性活躍推進法の各計画の策定
- ◆ 歩きスマホへの危険を市で啓発

## 11. 国家的事業において、市民への多大な負担は不合理では

海保茂喜 議員



**問** 今回の医学部新設が国際医療拠点創設のためにしろ、地域医療崩壊防止のためにしろ、成田市の財政上、合理的なものであるという市民的な同意、賛同が得られているとは思えない。確かに国家戦略特別区域法では国の財源措置はないが、国家的事業において、市民が多大な事業費負担を強いられることは不合理だと考えるが、成田市は国に対し、何らかの財政支援を求めるつもりはないのか伺う。

助金を交付する予算案を千葉県議会に提案いただいた。国の財政支援については、国家戦略特区は総合特区とは異なり、制度としての財政支援が予定されていないため、医学部の新設に国家戦略特区としての補助などはないが、何らかの財政支援を受けることができないか、検討を行っているところである。

### その他の質問

- ◆ 医学部・付属病院は国の方針にある国際医療拠点とすべきでは
- ◆ 落下物のさらなる再発防止策を
- ◆ 成田空港の機能強化と騒音地域の理解とは

## 12. 救急件数の増加とその対策

星野慎太郎 議員



▲高度な救急処置が可能な高規格救急車



**問** 平成27年9月に成田富里徳洲会病院が開院して、119番通報から医師引き継ぎまでの収容所要時間が短縮されているが、医療機関別の収容状況と搬送先となる病院を具体的にどのように選定しているのか伺う。

送先医療機関の選定については、救急隊はまず傷病者の状態を観察し、同時に傷病者の訴え、発生原因、かかりつけ病院、既往症などさまざまな情報を聴取した上で、手順書に従い適切な医療機関を選定している。また、処置中や専門外などの理由により受け入れができず、希望する医療機関に収容されないケースもある。

**答** 医療機関別収容状況について、平成27年9月から12月までの4カ月の統計では、成田赤十字病院が45.1%、成田富里徳洲会病院が30.6%、成田病院が9.4%、県立佐原病院が3.9%、日本医科大学千葉北総病院が2.8%であり、この5病院で全収容の91.8%を占める。搬

### その他の質問

- ◆ 成田赤十字病院とその他医療機関との役割分担
- ◆ 高規格救急車の台数と今後の整備計画
- ◆ 成田市の観光施策



### 13. 消防団員の処遇改善で防災のまちづくりを

鵜澤 治 議員



**問** 東日本大震災から5年、高い確率が予測される首都圏直下型地震に備え、防災のまちづくり最前線で活動する消防団員の処遇改善が急がれる。国は、消防団員の活動実態に応じた適切な報酬、手当の支給を規定したが、平成24年度の交付税単価は団員報酬が3万6,500円、出動手当が7,000円となっているのに対し、全国的にこれを下回る状況であるため、報酬・手当の条例単価引き上げを求めている。成田市消防団員の年額報酬並びに費用弁償の水準はいずれも国の基準額を大幅に下回っているが、消防団員の処遇改善について市長の見解を求める。

**答** 成田市の消防団に対する報酬額は、知識、技術、経験等を勘案するとともに階級ごとに位置付け、千葉県内各市町の支給額を参考に定めている。しかし、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律が施行され、消防団員の処遇の改善について示されていることから、引き続き県内各市町の動向を注視し、活動実態に応じた報酬額および出動手当について検討していく。

#### その他の質問

- ◆ TPP協定の批准中止を
- ◆ 成田第3滑走路その必要性は
- ◆ 医学部誘致で地域医療は

### 14. 給食費の値上げの撤回を

荒川さくら 議員



**問** 市長は施政方針で子どもが健やかに成長できるよう、社会全体で子育てを支えていくことが重要だとしている。給食食材費の支払いは保護者の責任であることを強調し、給食費の値上げをするのは子育て支援の基本的な考え方に逆行する。大学には130億円補助して、成田市の子どもたちの給食費は、年間で小学生7,260円、中学生8,360円の値上げをすることになる。給食の質の確保には公費を投入すればよく、このような値上げはするべきではない。給食費の値上げの撤回を求めるが、成田市の見解は。

**答** 保護者には平成27年11月に近年の食材価格の上昇により、現在の給食費では多種の食材を活用し、栄養バランスなどを考慮した給食を維持していくことは大変厳しい状況である旨をお知らせした。また、平成28年1月中旬には、改めて引き上げはやむを得ないことを説明した。

#### その他の質問

- ◆ 小規模保育事業所卒園児の受け入れの確約を
- ◆ 国民健康保険税は値上げすべきではない
- ◆ 年齢制限なくした保育料第3子無料化、所得制限も撤廃を

### 15. スクールソーシャルワーカー導入の考えは

青野勝行 議員



**問** 平成27年2月の成田市教育委員会会議定例会の中で、スクールソーシャルワーカー<sup>注12</sup>について、「県内で5人、北総教育事務所管内で1人であり、その1人で北総教育事務所管内の小中学校全てを担当しており、心もとない状況である」との発言があり、教育現場で人材を含めたさまざまな問題があることがうかがい知れる。教育現場から子どもたちの変化を発見し、必要とされる子育て支援につなげることは重要だと思う。スクールソーシャルワーカーが不足している状況ならば成田市独自で導入すべきと思うが考えは。

**答** 現在、千葉県内のスクールソーシャルワーカーの配置は5名であり、北総教育事務所管内の小中学校全てを1人で担当していることから対応できる件数が限られている。こうした状況の中、成田市では、教育委員会の指導主事が、スクールソーシャルワーカーと同様の働きをしている。このようなことから、成田市では指導主事の増員を図るとともに、千葉県が配置するスクールソーシャルワーカーの増員についても強く要望している。

#### その他の質問

- ◆ 障がい者福祉

注12 生徒指導上の課題などに対応するため、関係機関との連携や教員の支援を行う福祉職専門家。



## 16. 農業委員会改革

小澤孝一 議員



**問** 農地利用の最適化の推進を法令必須業務として農業委員会が取り組み、荒廃する農地の面積増加にも歯止めをかけて農地の流出を防ぐことが求められている。成田市の農業委員会委員は平成29年7月に新たに市長より任命されるとのことだが、委員定数をどのように考えているか。また農業委員会委員とは別に各地域で農地利用最適化推進委員を新設し農業委員会が委嘱することだが委員定数や業務内容を伺う。

**答** 農業委員会委員の定数は、農業委員会等に関する法律施行令によると、成田市の基準農業者数、農

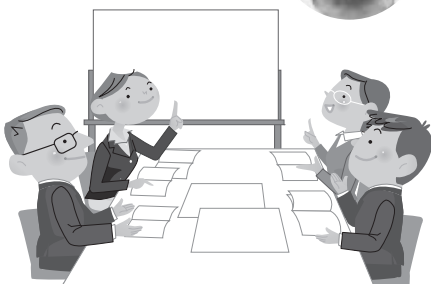
地面積における区分では上限が19人であるため、この範囲内で検討、協議して条例で定める。農地利用最適化推進委員の定数は、法令で定める基準に従い協議・検討し条例で定める必要があり、現段階で人数は答えられない。またその業務内容については、農地利用の集積、集約化を推進すること、耕作放棄地の発生防止と解消を推進すること、農地中間管理機構と密接に連携することなど、農地利用の最適化を推進する。

### その他の質問

- ◆ 成田空港機能強化の説明会
- ◆ 小帝地区分断解消への見直し

## 17. 政策決定の場における女性の確実な参画を

会津素子 議員



**問** 国の第4次男女共同参画基本計画では、市町村職員の各役職段階に占める女性の割合で成果目標が示されている。2020年までに係長相当職が35%、課長補佐相当職が30%、課長相当職が20%、部長・次長相当職が10%だが、成田市は、この目標を達成できるのか。

**答** 現在、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく特定事業主行動計画の策定作業を進めており、その中で女性職員の登用についての数値目標を定めたいと考えている。時間外勤務の縮減をはじめとする家事、育児、介護をし

ながら活躍できる職場環境の整備など、男女双方の働き方の改革によるワーク・ライフ・バランスの推進に積極的に取り組むとともに、女性リーダーの育成を目的とした研修の実施や、女性管理職員と若手職員の意見交換会の開催などの相談体制の整備等により、女性職員の計画的な育成やキャリア形成支援に取り組む。

### その他の質問

- ◆ 児童養護施設を退所した児童・若者へのアフターケアを
- ◆ 多様な性について人権啓発を
- ◆ ムスリム<sup>注13</sup>・ベジタリアン<sup>注14</sup>対応

注13 イスラム教徒を意味するアラビア語。 注14 菜食主義者。

## 18. 空港決定から半世紀の歴史に伝える特区づくり

宇都宮高明 議員



▲成田国際空港の遠景

**問** 平成28年7月で成田に新空港予定地が決定されて50年になる。国際空港として、成田、羽田の併用は理解するが、羽田空港再国際化の今日、成田に対する国の姿勢があまり見えない。そこで、成田空港が選ばれる国際空港になるためにも、空港周辺地域を国際物流拠点とするための自由貿易地域や土地利用規制の緩和を再度国に要求すべきと提案する。また、感染症等の国の中核施設の設置を、成田市が主導して立案するよう提案するが、見解を伺う。

**答** 成田市は、エアポート都市構想<sup>注15</sup>で、関税の優遇措置や総

合保税地域等に係る許可手数料などの軽減措置、農地法などによる土地利用制限の緩和などを提案した。その中で農地法に係る規制緩和は平成28年度から全国的に権限委譲が行われるため、一定の成果があったと考えている。また、国に対し、成田空港周辺に感染症の予防、研究等に係る国立の施設設置を要望している。

### その他の質問

- ◆ 市内医療機関への支援を
- ◆ 市と大学で設置する協議の場に議会や医師会代表の参加を
- ◆ 成田の国家戦略特区を担う人材の外部からの登用を

注15 成田空港の交通ネットワークや周辺観光資源等を活用し、日本の玄関にふさわしい都市とする構想。



## 19. 中小企業の支援策

福島浩一 議員



**問** 商工業者の経営支援策である成田市中小企業資金融資制度について、借入れをする場合の具体的手順は。また、日本政策金融公庫の利子に対する利子補給を千葉県内で採用している市があるが、成田市でも検討する考えがあるか。

**答** 中小企業者が資金融資制度を利用し事業資金の借入れをする場合、取扱金融機関を通じて市へ融資の申し込みをし、融資の実行と利子補給は金融機関を通じて事業者に行う。また、成田商工会議所、成田市東商工会でも、事業計画書などの作成や融資の相談を行っている。

日本政策金融公庫は国の特殊会社として、中小企業者などに対して事業資金の融資を行っており、千葉県内の12市が、資金を借入れた事業者に対して利子補給を実施している。成田市では、中小企業資金融資制度の拡充などにより中小企業者を支援しているが、地域経済活性化のためには新しいビジネスが育ち、中小企業が元気であることが重要なことから、他市の実施状況について調査・研究していく。

### その他の質問

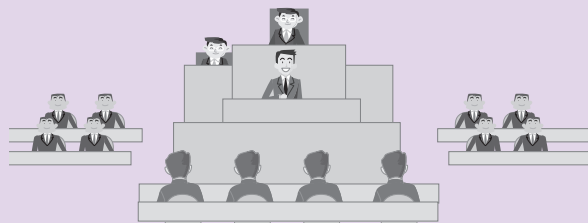
◆農業振興地域整備計画の見直し

## 議会を傍聴してみませんか

本会議はもちろん、常任委員会・特別委員会の様子を傍聴することができます。

日程や一般質問の質問項目は、市議会ホームページで確認するか、議会事務局までお問い合わせください。

傍聴は、会議の始まる30分前から受け付けします。



## コーヒータイム



第1回議会報告会は会場一杯の参加者に恵まれ、身の引き締まる思いで開催させていただきました。

限られた時間ではありましたが、議会として市民の皆さまの市政に対するご意見を聴く貴重な機会を得ることができました。お忙しい中、足をお運びいただいた皆さま、この場をお借りして御礼申し上げます。

広報広聴委員会では、充実した議会報告会の開催とより開かれた議会を目指して議論を重ねています。市民の皆さまからのご意見やアイデア等もお寄せください。共に成田市が抱える課題を解決し、地方自治を育てていきたいと思います。

広報広聴委員 会津 素子

## スマートフォンで議会中継が見られるようになります



成田市議会では、市民の皆さんに議会の様子を広くお伝えするため、議会映像のインターネット配信を行っています。

配信方法は、本会議や委員会の「ライブ中継」と24時間いつでも視聴できる「録画中継(本会議のみ)」の2種類です。

平成28年6月定例会からは、パソコン版に加えて、スマートフォンやタブレット端末に対応した配信を行う予定です。ぜひご覧ください。

## 6月定例会は、6月3日(金)開会予定です。

「成田市議会だより」についてのお問い合わせは、市議会事務局へ。

〒286-8585 成田市花崎町760  
TEL 0476(20)1570(直通)  
FAX 0476(24)0336

成田市議会

検索



「成田市議会だより」は、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙を使用しています。

